



防災意識UPで“いのちを救う” プロジェクト～防災の専門家による創意 工夫を凝らした防災教育出前講座の取組み～



大阪市 N-EXPO (株式会社ニュージェック)
大本 雄二

1 活動の背景

気候変動の影響とみられる水害が激甚化している中、災害関係機関が様々な施策を実施し、降雨・河川水位などの災害情報が容易に入手できるようになっているものの、毎年多くの方が犠牲となっています。その原因の一つとして、防災意識が低かったことが挙げられると考えています。

こうした中、建設コンサルタントである我々の有する専門的なノウハウを直接地域住民の方にお伝えすることで、救えるいのちがあるのではないかと、そのように思ったことがこの活動をスタートさせたきっかけであり背景です。

活動の目的は、人々の防災意識を向上させ、発災時に一つでも多くのいのちを救うこと。一人ひとりの防災意識を向上させることで、社会全体の自然災害に対する適応能力の向上を図り、一つでも多くのいのちが救われる状態へと繋げていきたいという思いがあります。

2 活動の内容

「水害」をテーマとした防災教育出前講座を「N-EXPO (ネクスポ)」という社内有志のメンバーがチームを組んで無償で実施しています。

この活動は主に子どもを対象者としており、小中学校での出前講座を中心に活動しています。子どもをメイン対象としている

理由は、学んだ防災に関する知識を次の世代に継承し、「持続可能な防災」となっていくことを願っているためです。さらに、講座を体験した子どもたちがその話題を家に持ち帰って話をする中で、ご家庭での普段からの備えに繋がる行動を取っていただくことにも期待しております。また、保護者同伴で体験いただくケースも多く、保護者への啓蒙にも繋がっています。

実際に何をするかということでは、防災に関する専門家としての知識は保有しているものの、それを講座参加者に対していかにわかりやすく伝えるかが課題でした。そこで、“楽しみながら学べる”をコンセプトとした体験型企画の構築を心掛け、特に子どもを中心に老若男女問わず興味を惹くことができるコンテンツを採り入れました。オリジナリティ溢れる素材を用いて、参加者自らが「見て」、「触れて」体験していただくことでより高い学習効果を得られるように工夫しています。具体的には主に次の2つを実施しています。

〈ジオラマ模型を用いた水害再現〉

都市に見立てたジオラマ模型に実際に水を流して水害を再現し、浸水した時の街の様子を目で見て体験いただくコンテンツです。その模型では、内水氾濫・外水氾濫・地下浸水・津波といった様々な水害を再現し、それらにより家や車が流されたり浸水したりする様子を視覚的にわかりやすく解説します。



ジオラマ模型を用いた水害再現



河川氾濫体験VRアプリ「オソレル」

防災クイズ
(模型、VR以外に防災クイズを実施する場合も)N-EXPOメンバー
(大阪・関西万博出展時〔2025.10.4〕に撮影)

〈河川氾濫体験VRアプリ「オソレル」〉

河川氾濫が発生した時の避難行動を、ゲーム感覚でリアルに擬似体験できる自社開発のアプリです。最先端の機器を用いて実在する街の3次元点群データを取得し、PC上でバーチャルに再現します。普段から見慣れた街が浸水した時の危険な風景がイメージできるとともに、河川氾濫時に万が一逃げ遅れてしまった場合、避難することが非常に困難であることを臨場感たっぷりと体験していただくことができます。

3 活動の成果

活動時には毎回、学習効果等を把握するためのアンケートを実施しています。そのアンケート結果によるとほとんどの講座参加者が大雨が降った時の危険性等、講座で

説明した内容を理解していると判断できるため、多少なりとも防災意識の向上に貢献できているものと推察しています。それに加えて、活動を進める中で多方面の方々と繋がる機会が増え、多くの学校や団体・企業の方からお声掛けいただくようになり、活動の輪がどんどん広がってきています。

4 今後の活動

現時点では、「水害」をテーマに活動しておりますが、耐震構造や地震動に関する専門家もN-EXPOのメンバーに在籍しているため、今後は「地震」に関する災害への啓発にも取り組んでいく予定です。